

(様式第 1 号)

2019 年 4 月 26 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : マネジメントに関する領域

科 目 名 : 介護分野の人材育成と学習支援

単 位 数 : 1 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 一般社団法人静岡県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 420-0856

静岡県静岡市葵区駿府町 1-70 静岡県総合社会福祉会館 4 階

電話 : 054-253-0818

FAX : 054-253-0829

E-mail : shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 一般社団法人静岡県介護福祉士会 

申請責任者 : 会長 及川 ゆりこ

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	マネジメントに関する領域	
科目名	介護分野の人材育成と学習支援	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を支援する組織のあり方や学習の理論を理解させ、自職場における学習する組織づくり、地域包括ケアにおける社会環境づくりについて実践する力を育成する。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・成長を支援する組織のあり方のポイントについて、概説できる。 ・成人の学習に関する原則のポイントについて、概説できる。 ・以上を踏まえて、自職場の人材育成の現状と課題を分析し、改善策について検討できる。 ・地域包括ケアをふまえた社会環境づくりにむけた学習プログラムを企画できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○成長を支援する組織 <ul style="list-style-type: none"> ・従業員満足、顧客満足とサービスプロフィットチェーン ・専門性と組織性の統合 ○成人の学習に関する原則 <ul style="list-style-type: none"> ・学習のメカニズムと学習モデル…成人学習、経験学習、批判的思考、実践共同体、協調学習、学習する組織 ○人材育成の体系 <ul style="list-style-type: none"> ・インストラクショナルデザインと職場の環境づくり ・介護職のキャリアラダーとキャリア開発 ・教育・研修体系の構築と評価 ○地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアを見据えた地域での学習の展開の必要性 ・多職種連携教育、地域住民等の学習プログラム 	<p>◆◆事前課題◆◆</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職におけるキャリア開発の観点から、自職場における介護人材の育成にかかる構造を自己分析し、研修本時で学ぶ知見を自職場における教育・研修等の人材育成実務に結びつけて理解できる視点を形成することをねらいとする。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別添、ワークシートにより、自職場における介護人材に関する教育・研修体系の特徴を概説し、「介護職としてのキャリア開発」の視点から、その①効果、②課題、③改善のポイントの3点について考察せよ。 <p>【方法】</p> <p>ワークシートに回答。研修2週間前までに事務局に提出</p> <p>◆◆研修当日（集合8時間）◆◆</p> <p>【導入講義1】介護職のキャリアラダーとキャリア開発（キャリア開発、教育制度等）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①介護分野の人材育成の経緯と現状 ②介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて（社保審部会報告書から） ③養成課程における教育内容の見直し ④介護実践とアカデミズムの乖離を埋めるもの 介護の専門性の地平 <p>【演習1】自職場の分析と課題の共有</p> <p>【講義2】成人の学習に関する原則 (学習心理学、教育と学習の違い等)</p>

- ①学習モデルにおける成人教育の特性
- ②成人教育におけるインストラクショナルデザイン
- ③与えられる「知識」と自ら掴む「知識」
(2020年 教育再生のためのグランドデザイン)

**【講義3】インストラクショナルデザインと職場の環境づくり
(学習モデル、インストラクショナルデザイン、学習環境デザイン等)**

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実践と介護人材育成

主体性、対話、統合力をいかに引き出すか

- ②6つの構成要素
- ③業務の標準化・視覚化と介護過程

**【講義4】介護実践教育・研修体系の構築と評価
(協調学習、動機付け理論、学習環境デザイン、スーパービジョン、評価方法等)**

- ①行為としての介護の特性と概念化
- ②介護実践における学習の場 OJT, Off-JT のしつらえ
- ③介護実践の特性と専門性の伝達
- ④目標管理(MBO) と評価

【演習2】自職場介護実践教育・研修の体系共有と分析

【講義5】介護実践の成長を支援する組織

- ①ノンプロフィットサービスにおける生産性
- ②SPCの構造理解
介護実践におけるCISとEIS
- ③機関機能と専門職機能
- ④学習する組織

【演習3】「学習する組織」化の仕組みづくりワークショップ

**【講義6】地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくり
(他職種連携教育、住民教育等)**

- ①多職種連携教育
Multi-Professionalwork(MPW)と
Inter-Professionalwork(IPW)の違い
- ②IPEのデザイン
多職種・地域住民協働学習プログラム
- ③地域包括ケアにおける介護福祉士の専門機能の可能性
- ④介護地域活動モデルの形成

【演習4】介護地域活動モデルワークショップ

◆◆事後課題◆◆

【ねらい】

- ・研修本時で学んだ成長を支援する組織のあり方や学習の基礎理論に基づき、自職場における教育・研修等の人材育成の課題分析を例に、認定介護福祉士として、介護職の人材育成について、現実的なあり方の提案ができる視点を身につける。

【課題】

- ・本時で学んだ成長を支援する組織のあり方や学習の基礎理論に基づき自職場における介護人材

		に関する教育・研修体系の課題分析と改善策を例に、 今後の介護職の人材育成のあり方について考察せよ。 (2000字)
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 集合研修 ■ 課題学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○ 課題学習は事前・事後課題として、レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。
研修時間	15 時間（集合研修 8 時間、課題学習 7 時間）	
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については 30 分を上限として認める。（レポート課題あり） ○ 事前課題、事後課題の未提出者は全課程出席と認めない。 ○ 修了評価において、合格を得ることを要する。 	
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・ 修士課程を修了していることが望ましい ・ ①介護福祉士で介護職員として 10 年以上の勤務歴を有する者②介護現場をフィールドとした組織行動論に関わる研究論文（筆頭者以外を含む）を執筆している者③その他、介護現場の実態について理解が十分あり①②に準ずると認められる者が望ましい。 ・ 補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 	
(2) 受講者について		
受講対象 (受講要件)	<ul style="list-style-type: none"> 単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。 ・ I 類修了者 ・ ユニットリーダー又はサービス提供責任者以上の職歴が 3 年以上の者が望ましい。 	
修了評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については 30 分を上限として認める。（レポート課題なし） ○ 事前課題、事後課題の未提出者は全課程出席と認めない。 ○ 修了評価は、ア）筆記試験、イ）リフレクションペーパーの内容、ウ）授業参加貢献度評価による総合評価で、A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）を合格とする。D 評価（59 点以下）の場合は、再試験（本試験同様）を行う。 なお、集合研修を欠席した場合、課題が提出されていても修了を認めない。 	
(3) 研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	<p>40 名（講師 1 名）演習時も同じ講師で行う。</p> <p><演習ファシリテーター>（配置） 受講者 24 名以上の場合 1 名、以降 12 名を増すごとに、1 名のファシリテーターを配置する。</p> <p>（要件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認定介護福祉士 ② 日本介護福祉士会リーダー研修後期（ファーストステップ[®] 研修講師養成研修）修了者 ③ 上記①、②と同等の能力を有すると実施事務局が認める者 	
開催場所（都道府県）	静岡県総合社会福祉会館シズウエル（静岡県静岡市葵区駿府町 1-70）	

コマシラバス

1日【8時間】

※本科目に関しては1時間を45分換算します。

区分	プログラム	時間	内容
1 コマ目	【導入講義1】介護職のキャリアラダーとキャリア開発	9:30～11:00	30 ①介護分野の人材育成の経緯と現状 ②介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて（社保審部会報告書から） ③養成課程における教育内容の見直し ④介護実践とアカデミズムの乖離を埋めるもの 介護の専門性の地平
	【演習1】自職場の分析と課題の共有		30 講義1の内容を踏まえ、介護人材の育成に関する社会的要請などを踏まえ自職場の教育・研修体系及び自身が考える課題感についてグループで共有する。 <ポイント> ・所属状況の多様性を理解し、自職場の状況に関わらず、いかなる環境においても介護人材育成の視点で向きあえる視点を形成するように助言。
	【講義2】成人の学習に関する原則		30 ①学習モデルにおける成人教育の特性 ②成人教育におけるインストラクショナルデザイン ③与えられる「知識」と自ら掴む「知識」（2020年教育再生のためのグラントデザイン）
	休憩	11:00～11:10	
2 コマ目	【講義3】インストラクショナルデザインと職場の環境づくり	11:10～12:40	30 ①「主体的・対話的で深い学び」の実践と介護人材育成 主体性、対話、統合力をいかに引き出すか ②6つの構成要素 ③業務の標準化・視覚化と介護過程
	【講義4】介護実践教育・研修体系の構築と評価		30 ①行為としての介護の特性と概念化 ②介護実践における学習の場 OJT, Off-JT のしつらえ ③介護実践の特性と専門性の伝達 ④目標管理(MBO) と評価
	【演習2】介護実践教育・研修に共通する課題状況の分析		30 講義2～4の内容を踏まえ、介護実践現場に共通する状況をとらえ課題としてグループで共有する。 <ポイント> ・介護実践の特性から、共通する課題認識を持ち、認定介護福祉士として向きあう姿勢を醸成。

	昼食・休憩	12:40～13:40	
3 コマ目	【講義 5】介護実践の成長を支援する組織	13:40～15:55	30 ①ノンプロフィットサービスにおける生産性 ②SPCの構造理解 介護実践におけるCISとEIS ③機関機能と専門職機能 ④学習する組織
	【演習 3】「学習する組織」化の仕組みづくりワークショップ		30 講義5の内容を踏まえ、課題について個人能力の形成に留まらず介護チームとして「学習する組織」化するための方策について具体策を検討共有する。
	【講義 6】地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくり		30 ①多職種連携教育 Multi-Professionalwork(MPW)とInter-Professionalwork(IPW)の違い ②IPEのデザイン 多職種・地域住民協働学習プログラム ③地域包括ケアにおける介護福祉士専門機能の可能性 ④介護地域活動モデルの形成
	休憩	15:55～16:05	
4 コマ目	【演習 4】介護地域活動モデルワークショップ	16:05～17:35	30 社会的要請に応える介護専門職として地域包括ケアシステムにおいて自己の専門機能を有効に発信できるモデルをイメージする。
	筆記試験		30 事前解説(10分) 筆記試験(20分)
	質疑解説・全体振り返り まとめ		30 リフレクションペーパー作成(20分) 解説・まとめ

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2020年11月21日
	②
	③
開催場所 (会場)	① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70)
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	○介護分野の人材育成と学習支援 菊池健志 氏 特別養護老人ホームクロスハート幸・川崎施設長、神奈川県立保健福祉大学実践教育センター講師、実践ソーシャルワーク塾塾長、社会福祉士、元神奈川県総合療育センター地域企画課長、元神奈川県立大学実践教育センター介護教員養成課程専任教員 日本介護福祉士会リーダー(講師養成)研修講師、ファーストステップ研修講師 (長野、鳥取、三重、沖縄、滋賀、京都、大阪)
	主な著書 「できることから地域福祉ノウハウ」さわやか福祉財団、「介護福祉士合格指導講座 テキスト3 社会福祉概論/老人福祉概論」通信教育講座ユーキャン共著、「わかりやすい介護保険法の手引」新日本法規出版、共著、「介護保険・保健福祉辞典」ジャパンインターナショナル総合研究所、共著ほか
	担当する講義等 事後課題評価 菊池健志氏 経歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会 (非常勤:6名) 委員会事務局 (担当事務局員:常勤2名・非常勤2名) 認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。
研修管理責任者職名	会長
研修管理責任者氏名	及川 ゆりこ

機構問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
機構問合せ先担当者氏名	平野 美智子
機構問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
機構問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
受講問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	平野 美智子
受講問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
受講問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	静岡県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	及川 ゆりこ（会長）
管理担当者氏名	平野 美智子（事務局長）